

<ゲイル・ホワイト少佐の 2021 年 3 月 28 日のメッセージ (要約) >

オリンピックを開催するために準備が進んでいます。聖火ランナーが日本全国を縦断して東京に向けて走り始めました。私の母国のオーストラリアでも 2000 年にオリンピックが開催されました。当時私は田舎の小さな村の小隊 (教会) の責任を持っていて、その村にも聖火ランナーが通ることになり、村中総出で歓声を上げながらランナーを迎えました。それと同じ光景がロバの子に乗るイエスを迎える人々の姿に見られたことでしょう。その出来事を記念する「棕櫚の聖日」を今日迎えています。その日、旧約聖書のゼカリヤ書に記された「彼は神に従い、勝利を与えられた者。高ぶることなく、ろばに乗って来る。雌ろばの子であるろばに乗って」という預言が成就したのです。ユダヤ人はメシアが到来してローマ帝国の圧政から民を解放してくれると期待していました。そして預言の通りイエスはロバの子の背ののってエルサレムに入城したのです。ロバの子は、まだ誰もその背に乗せたことがないことから、無垢を象徴しています。また、戦争の象徴である軍馬と違い、ロバは平和をもたらす象徴でした。イエスは戦いをもたらすためではなく、愛と平和と恵みをもって私たちの心を占領してくださるお方です。イエスは私たちの罪の身代わりに死ぬことによって、私たちを父なる神と和解させ、三日目に復活し、勝利者となってくださいました。群衆はその着ている服をイエスの通る道の上に投げ出し、棕櫚の葉を打ち振りながら「ホサナ！」と叫びました。棕櫚の葉は勝利者を象徴し、「ホサナ！」とは「私たちを解放してください！」という意味です。その出来事から 2000 年が経ちましたが、イエスは今もなお私たちを解放することのできる救い主です。世界は解決困難な問題に直面しています。しかしイエスは死に打ち勝つ勝利を私たちに与えてくださいました。イエスは武力を使ってローマ帝国を倒すことはしませんでした。それゆえ群衆はイエスに失望して、イエスを十字架につける側に回ってしまいました。しかしイエスは、イエスの方法で私たちを解放してくださることを私たちは知っています。イエスは私たちを愛して、十字架と復活により救ってくださる救い主なのです。